



いちよう



海老名市立海老名小学校
学校だより 臨時号2
令和6年2月13日 発行
校長 奥泉 憲



「どんな歌声を聞かせてくれるのですか。 どんな思いを届けてくれるのですか。」

いよいよ今週学習発表会が開催されます。各学年とも、この日のために合唱や合奏、呼びかけ等の練習に子どもたちは一生懸命に取り組んできました。

私は、学習発表会本番に向けての各学年の練習を何度も見させてもらっています。保護者の皆さまには、発表会本番での子どもたちの一番立派な姿を見ていただきますが、これまでの取り組みの中で見せてくれた子どもたちの様々な表情も、私には忘れられません。学年合奏のオーディションに臨んでいた緊張感いっぱいの子どもの顔、休み時間の音楽室での演奏練習にも一生懸命に取り組んでいた姿、そして、体育館での学年練習で、各担任や音楽専科の先生の思いに応えようと必死に練習していくなかで、いつしか学年としての絆が深まっていくあの素敵な瞬間。

ある5年生の話です。その子は、2学期に行われた鼓笛隊のオーディションで合格することができず、その悔しい思いで、今回の学習発表会の学年合奏の楽器オーディションに立候補したそうです。そして、見事に合格し、指揮者の指揮棒から一瞬も目を離さない集中力で毎回の練習に真剣に取り組んでいました。その子が刻む打楽器の正確で心地よいリズムが、今回の5年生の学年合奏全体をしっかりと支えています。

小学校生活最後の学習発表会、6年生の学年合唱曲は『HEIWAの鐘』。
『ぼくらの生まれたこの地球（ほし）に

奇跡を起こしてみないか
拳をひろげてつなぎゆく
心はひとつになれるさ
平和の鐘は 君の胸に響くよ』

今日、世界各地で悲惨な紛争が相次ぎ、今年1月、我が国でもとても悲しい出来事がありました。そんな今だからこそ、6年生の子どもたちの歌声が心に響きます。

きっと、子どもたち一人ひとりに学習発表会にかける思いがあります。だからこそ、子どもたち一人ひとりが、学習発表会本番でこれまでの練習の成果を精一杯発揮してくれることを願わずにはられません。

果たして、子どもたちはどんな歌声を聞かせてくれるのでしょうか。どんな思いを届けてくれるのでしょうか。

保護者の皆さま、子どもたちの応援よろしくお願いいたします。
海老名小学校学習発表会、ご期待ください。

学校長 奥泉 憲